

グラフで見る東海経済 (2020年6月)

2020年6月26日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～新型コロナウイルス感染症の影響で悪化しており、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの兆しもみられる

【今月のポイント】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、4月、5月の指標は総じて非常に厳しい水準にあるが、一部に下げ止まりの兆しもみられる。
- 生産は輸送機械、汎用・生産用・業務用機械など機械類を中心に減少している。目先はコロナ影響で減少が続く見込み。
- 輸出は、アジア向け自動車部品、北米向け自動車など自動車関連の落ち込みが大きい。
- 個人消費では、巣ごもり消費でスーパー、ドラッグストアが増加となる一方、百貨店は営業自粛で大幅減。消費マインドは低水準ながら底入れの兆し。
- 住宅着工は愛知のマンションが増加。
- 裁判所業務縮小により倒産件数が急減。

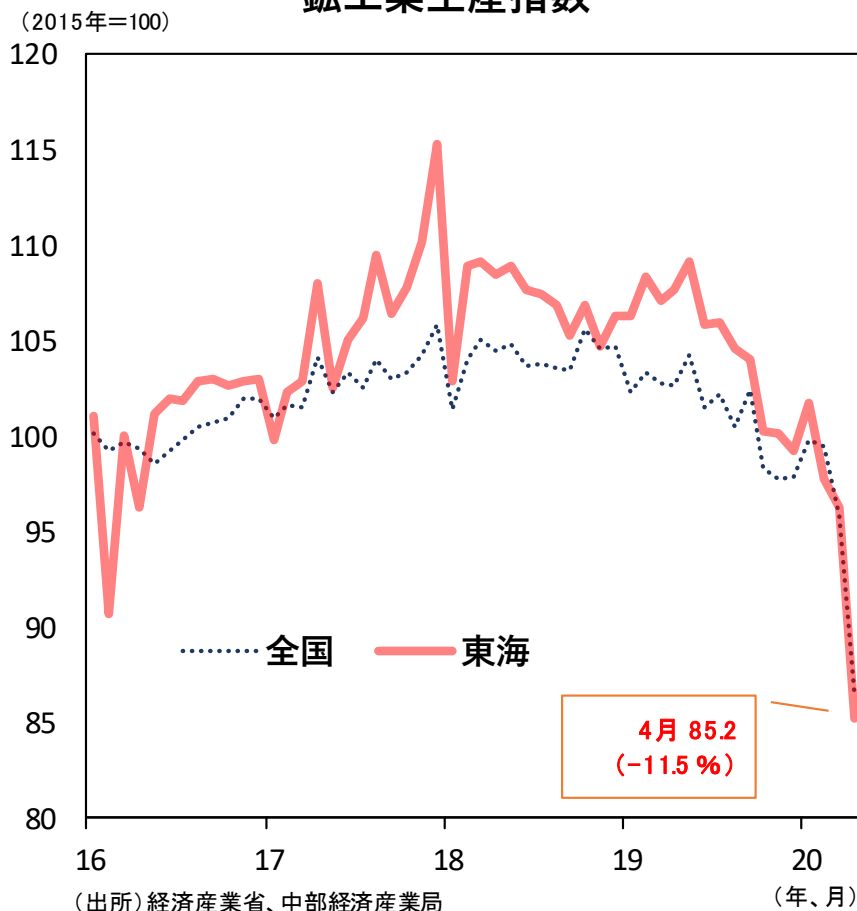
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で悪化しており、厳しい状況にあるが、一部に下げ止まりの兆しもみられる(↑)
生産	減少している
輸出	減少している
設備投資	弱含んでいる
雇用	改善が一服している
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	減少している
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	増加している

(注) 景気全般は、一部下げ止まりの兆しがあることから小幅上方修正

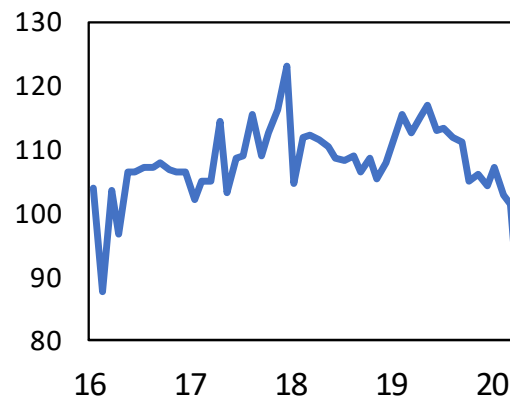
生産

4月の鉱工業生産(東海)は前月比-11.5%と大幅減少(前年比-20.5%)。特にウェイトの5割を占める輸送機械の減少が目立つ。コロナ影響による海外需要減、工場の稼働日減もあり、目先は減少が続く見込み。

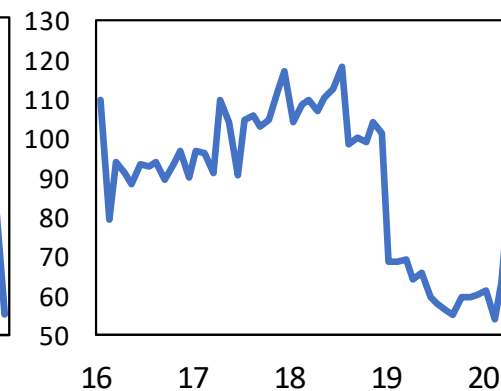
鉱工業生産指数



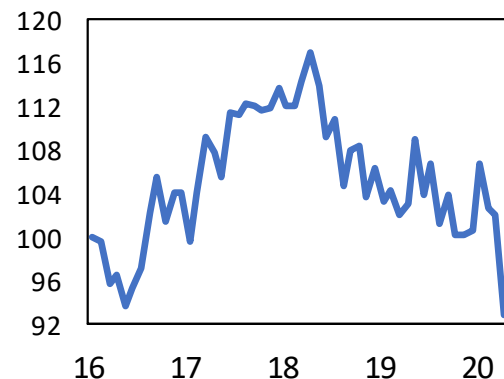
輸送機械



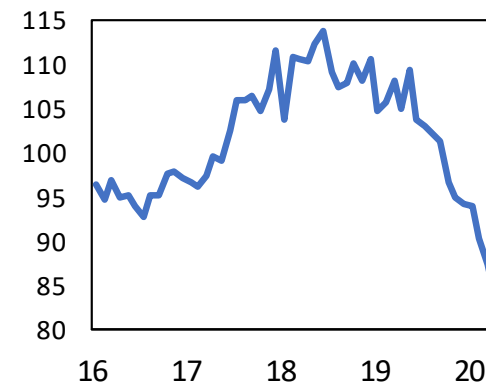
電子部品デバイス



電気機械



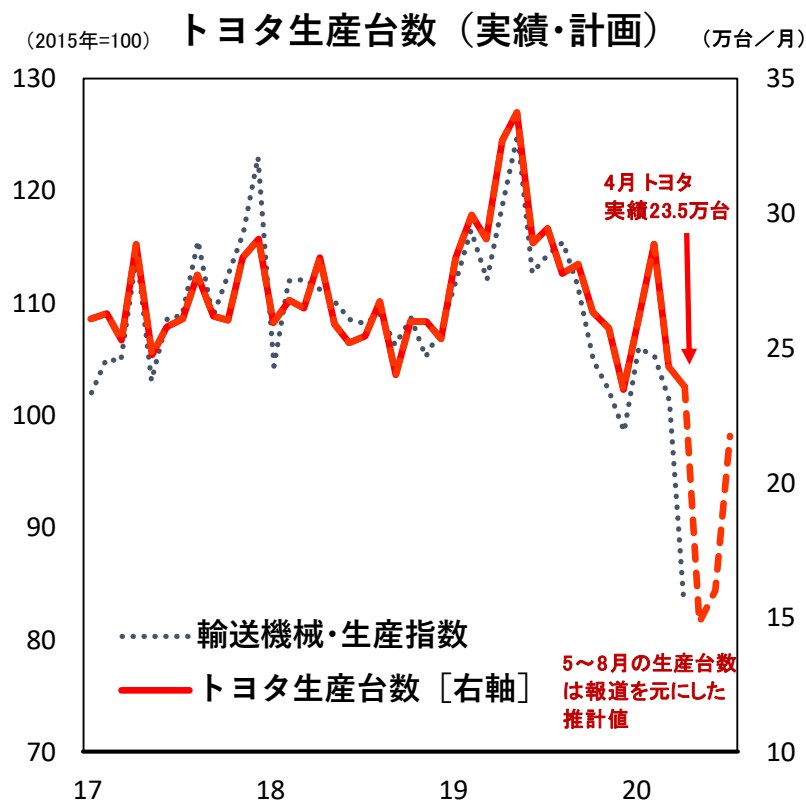
汎用・業務用・生産用機械



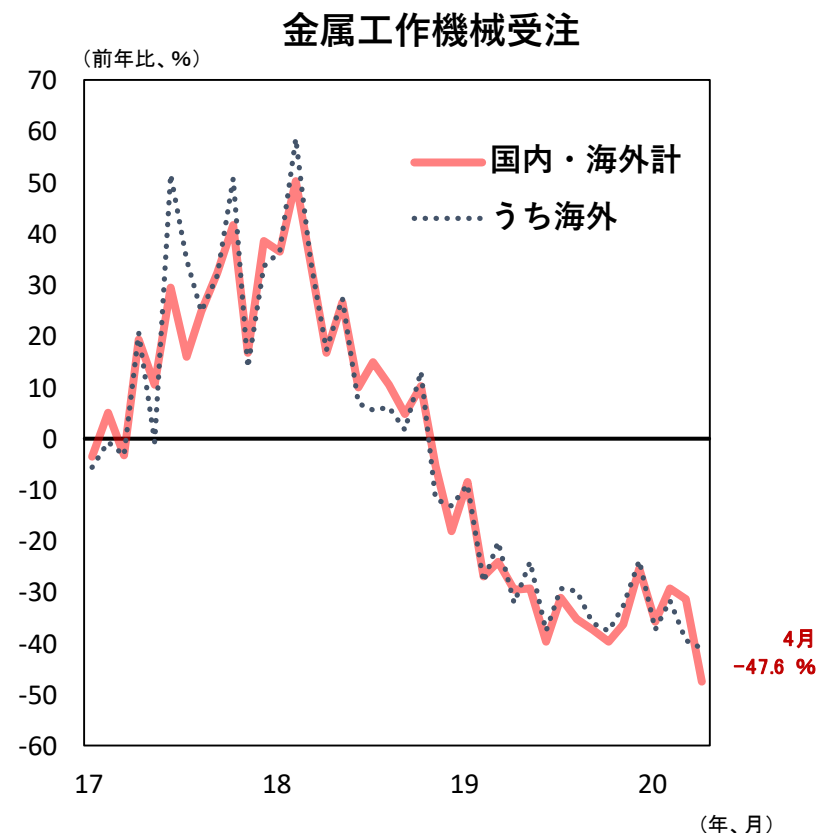
生産（金属工作機械、トヨタ生産計画）

4月のトヨタ生産台数（弊社試算季節調整値）は23.5万台と前月から微減。5月の大幅減産を底にその後は回復の計画。

金属工作機械受注は国内受注が大幅減となった。海外受注も大幅減が続くが中国は21ヶ月ぶりにプラスに。受注全体で前年比約5割減となっている。



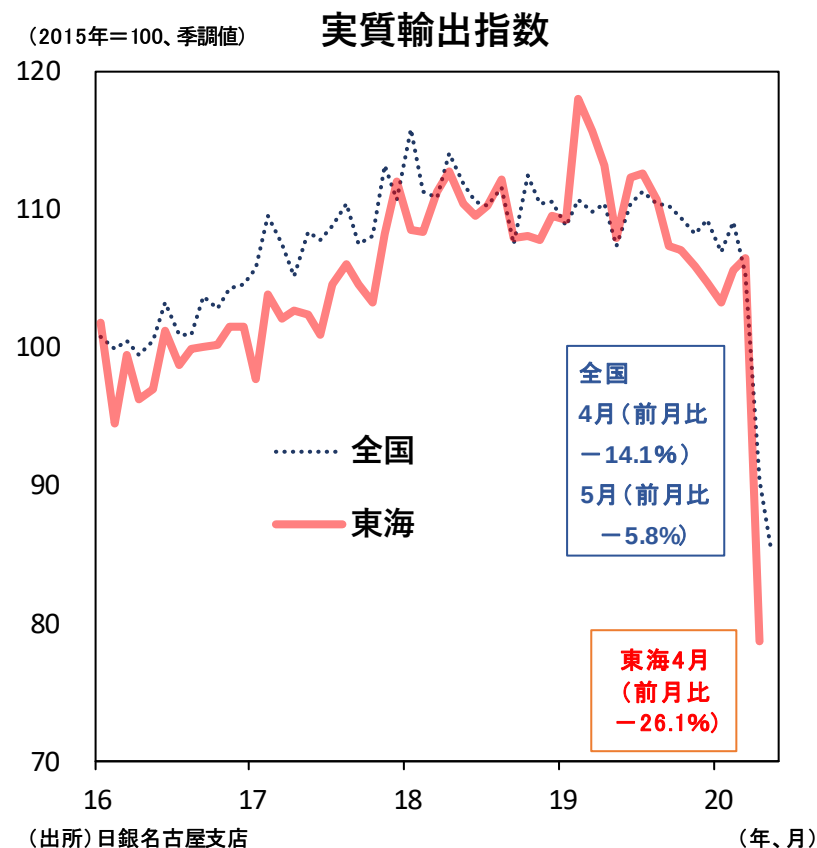
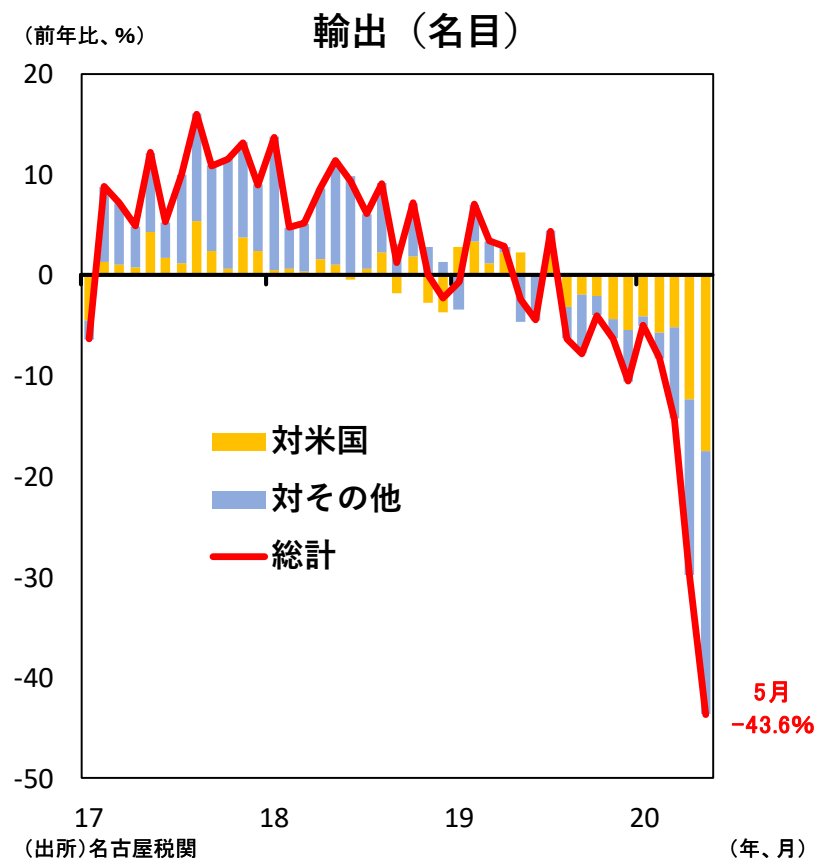
（注）トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県（年、月）
（出所）中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」



（出所）中部経済産業局「金属工作機械受注」

輸出

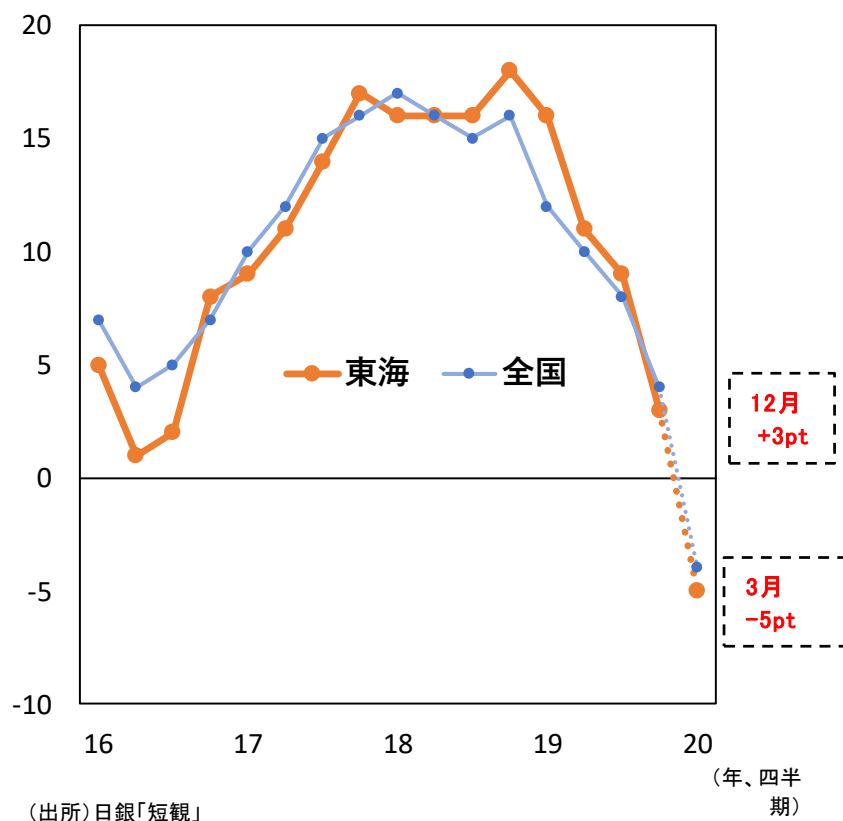
5月の名目輸出額は前年比－43.6%と減少幅が拡大した。欧米の減少拡大に加え、ASEANも減少した。4月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比－26.1%と、全国を上回るペースの大幅減。



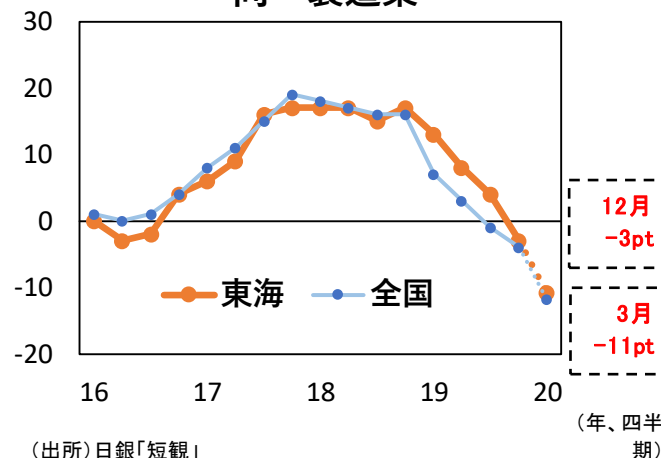
企業景況感(日銀短観) ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月の業況判断DIは全産業で-11ptと「悪い」超に。製造業は-17pt、非製造業は-2pt。先行き(6月)については、全産業、製造業、非製造業、いずれも悪化が見込まれている。

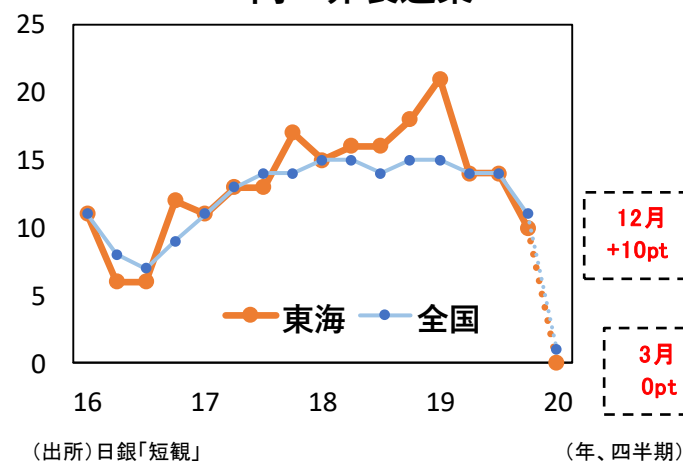
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

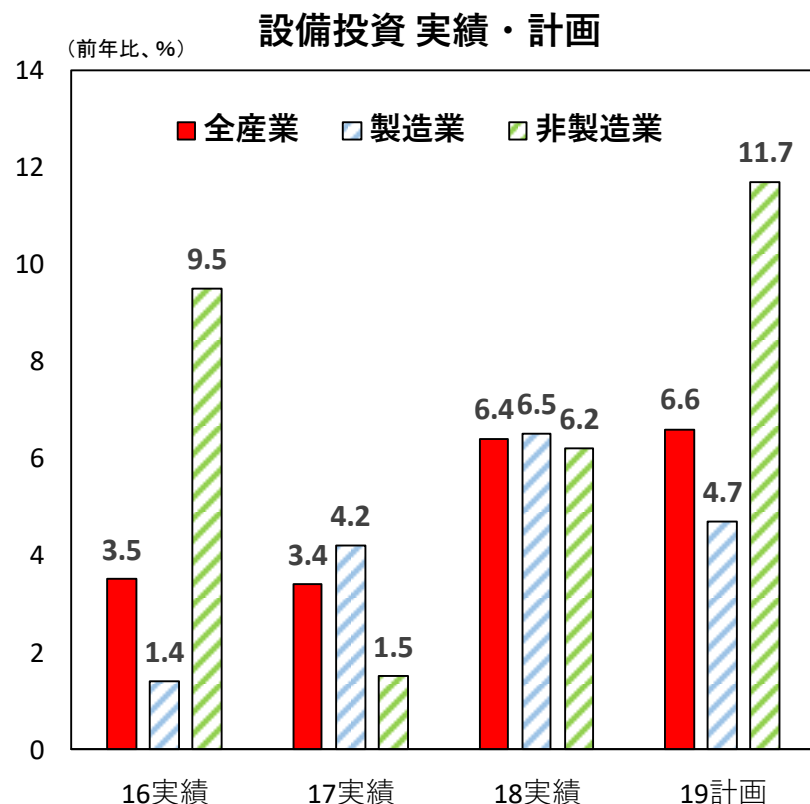


同 非製造業



設備投資 ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査では、19年度の設備投資見込は全産業で前年比+5.0 %へ下方修正。20年度については全産業同-0.4%(製造業-0.5%、非製造業-0.4)%といずれも減少する計画。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

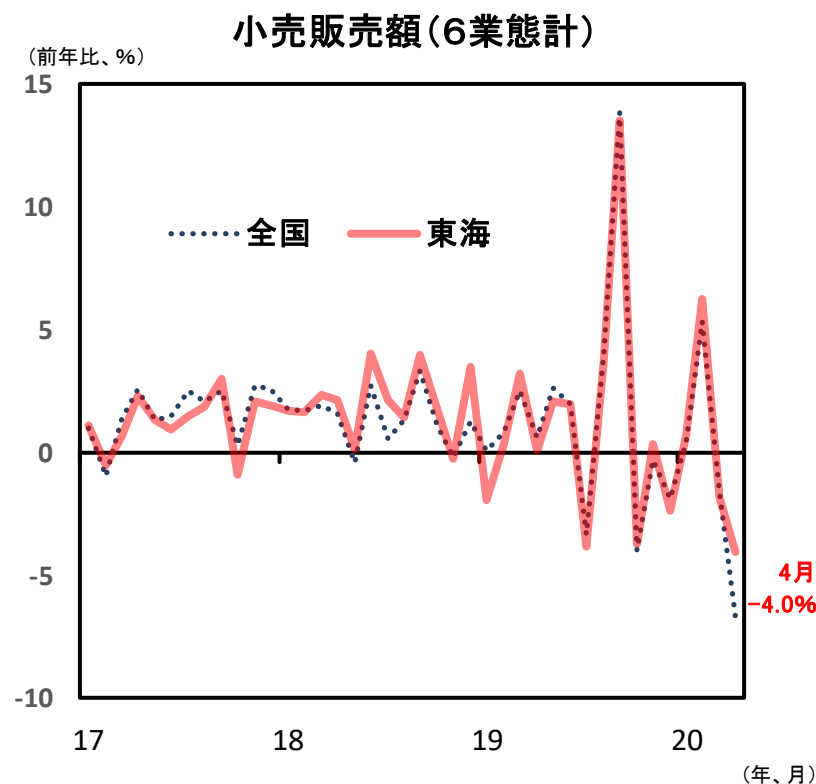
(年度)

設備投資額 (前年比%)

	18年度 実績	19年度 見込		20年度 計画
		今回	12月調査時 [差異]	
全産業	6.4	5.0	6.6 -1.6	-0.4
製造業	6.5	2.9	4.7 -1.8	-0.5
非製造業	6.2	10.7	11.7 -1.0	-0.4

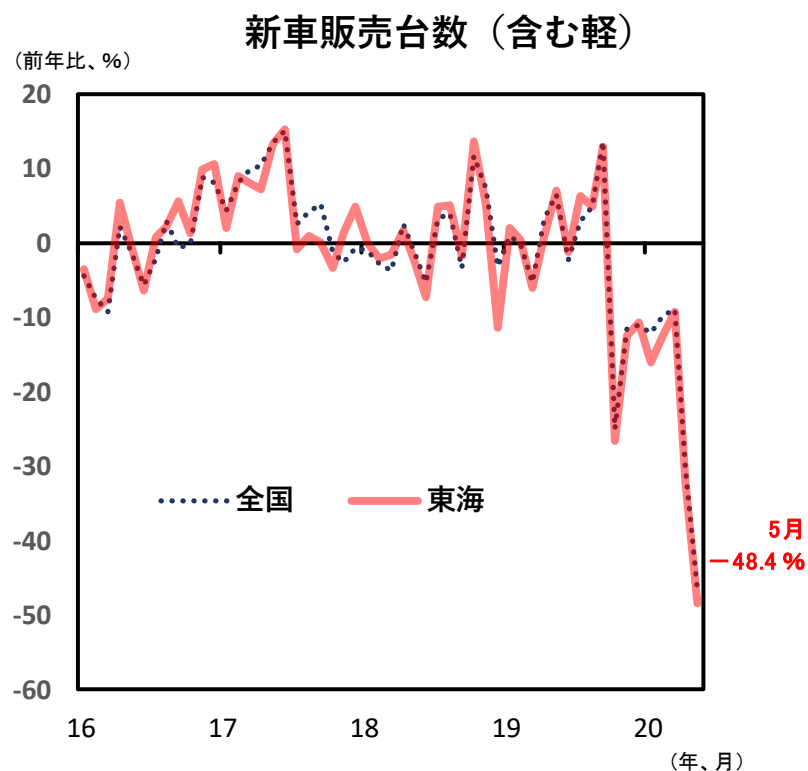
個人消費（小売売上、自動車販売）

4月の小売販売額は前年比－4.0%と減少幅が拡大。緊急事態宣言下の活動自粛の影響で百貨店、家電販売店などが減少した。一方、巣ごもり消費によりスーパー、ドラッグストアの売上は増加した。
新車販売は大幅減が続いている。



（出所）商業販売動態統計

（注）百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

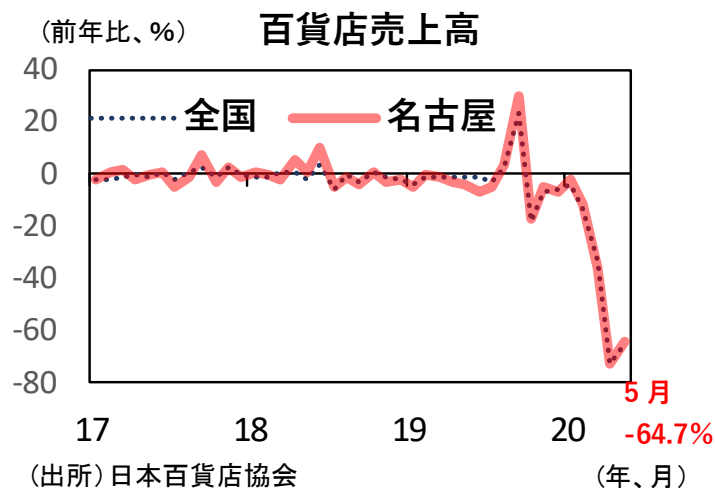
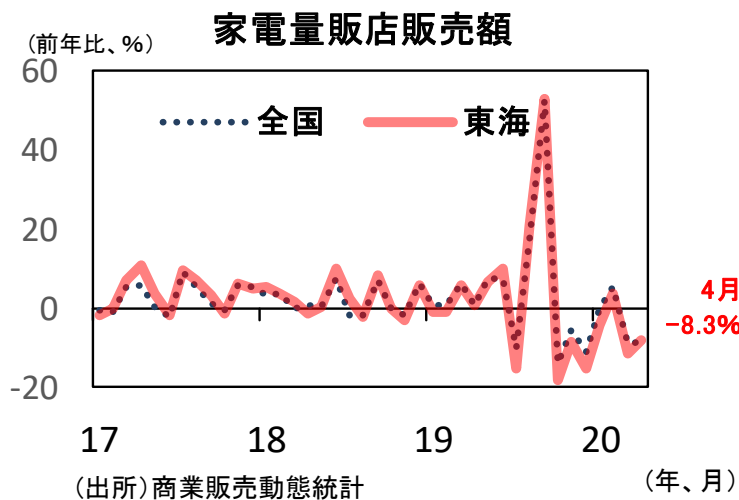
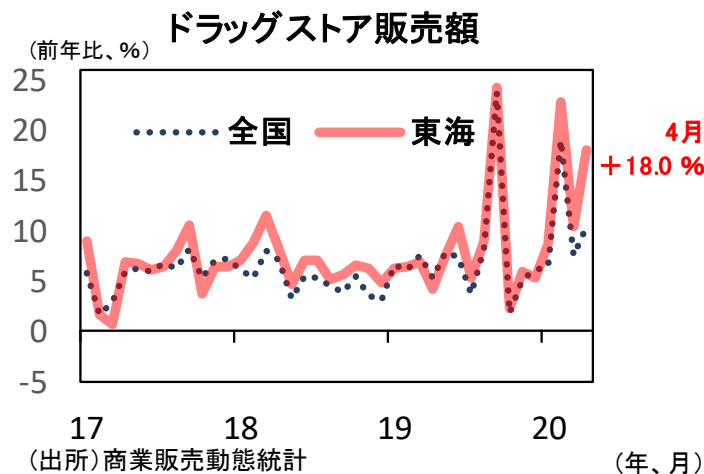
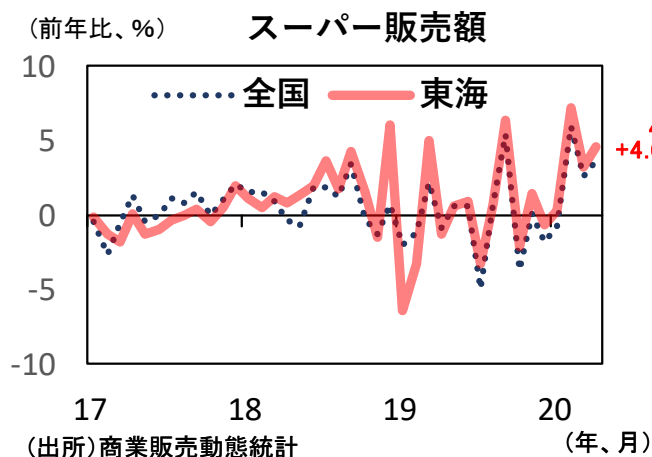


（出所）全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会よりMURC作成

個人消費(業態別)

4月は、スーパー、ドラッグストアは前年比で増加。家電販売が減少。

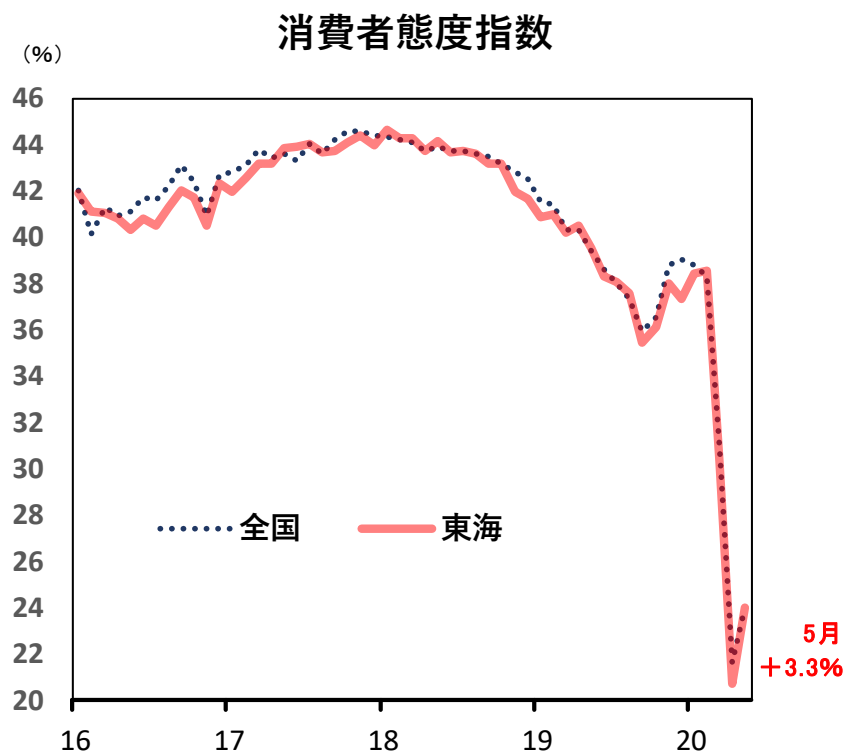
5月の百貨店販売は、緊急事態宣言下の営業自粛の影響で前年比-64.7%の大幅減。



マインド・景況感

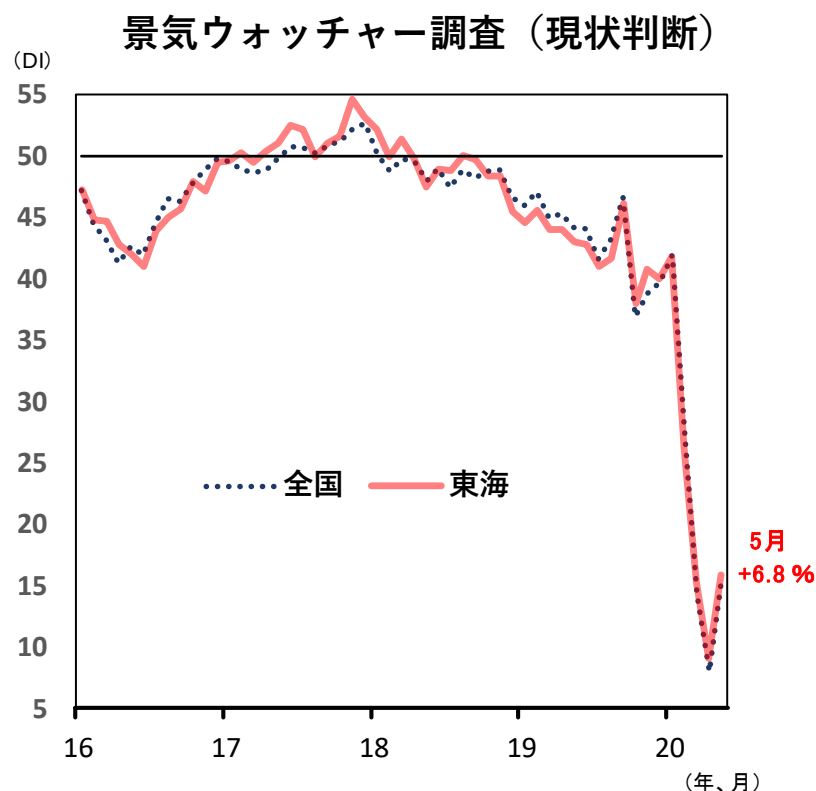
5月の消費者態度指数は24.0(前月差+3.3%pt)と、緊急事態宣言の解除により改善したが水準は低い。

5月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は15.8(同+6.8%pt)と、緊急事態宣言の解除により改善したが水準は低い。先行きについては厳しい状態が続くものの改善が見込まれる。



(注) 今後半年間の見通し：当社試算季節調整値

(出所) 内閣府「消費動向調査」

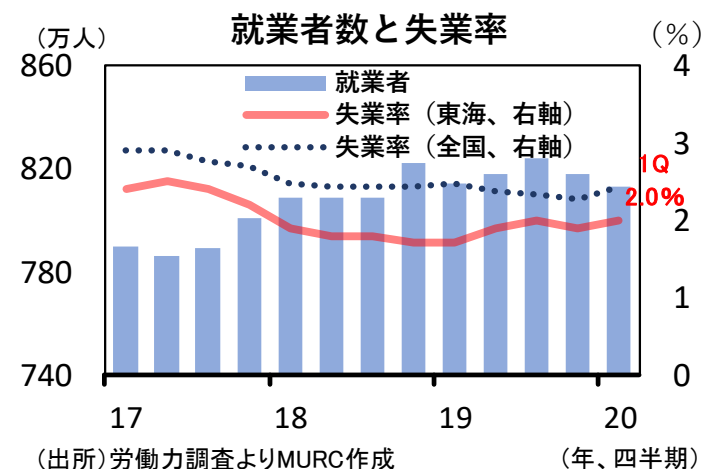
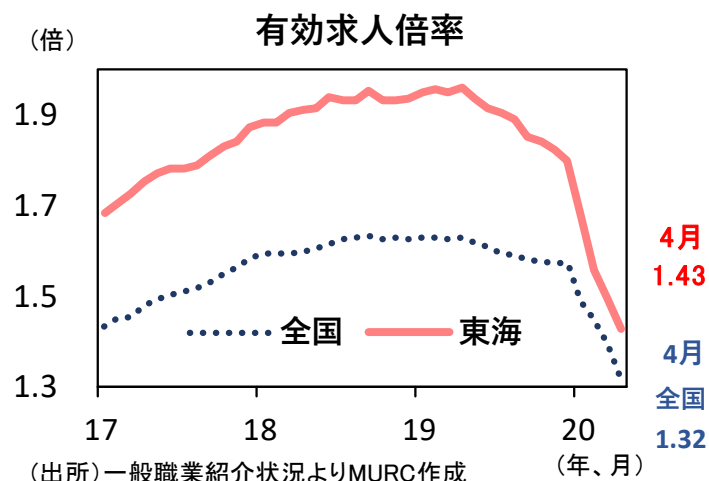
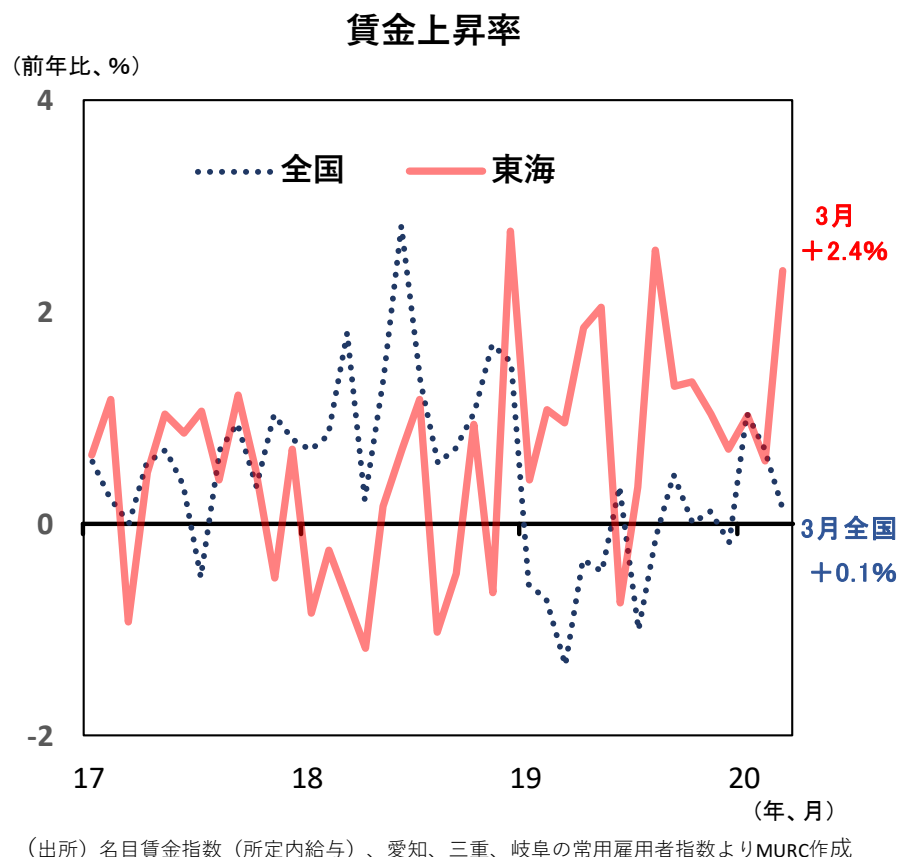


(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

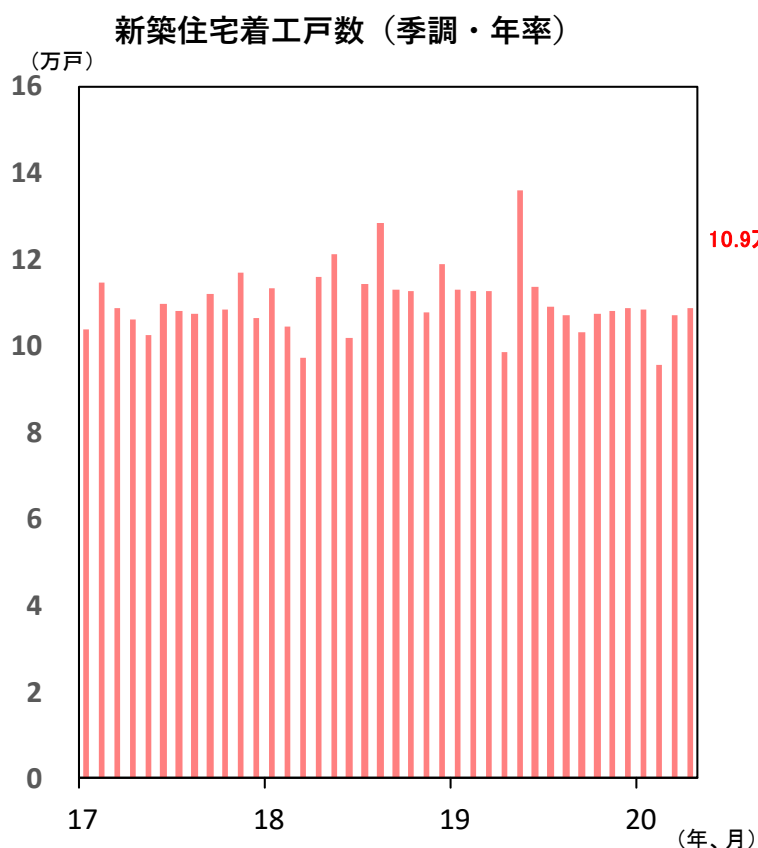
3月の名目賃金指数は、前年比+2.4%と前年比プラスが続いた。

一方、4月の求人倍率は低下が続く。1-3月期は就業者数が減少、失業率も上昇した。

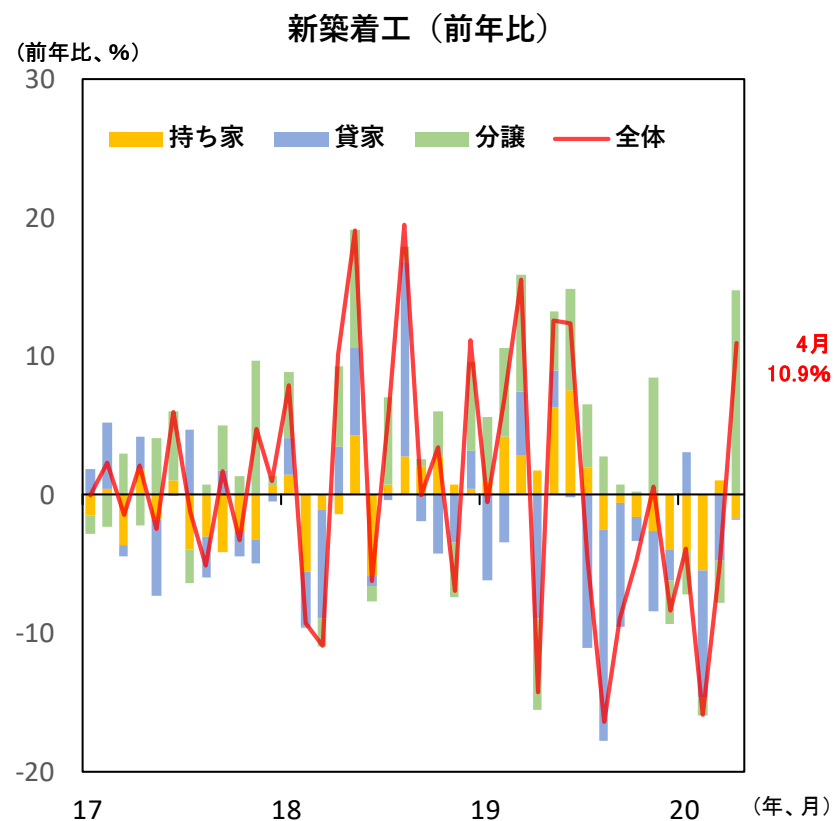


住宅投資

4月の住宅着工は季調・年率10.9万戸となった。原数値では前年比+10.9%。分譲が増加した(愛知のマンションが大幅増)。



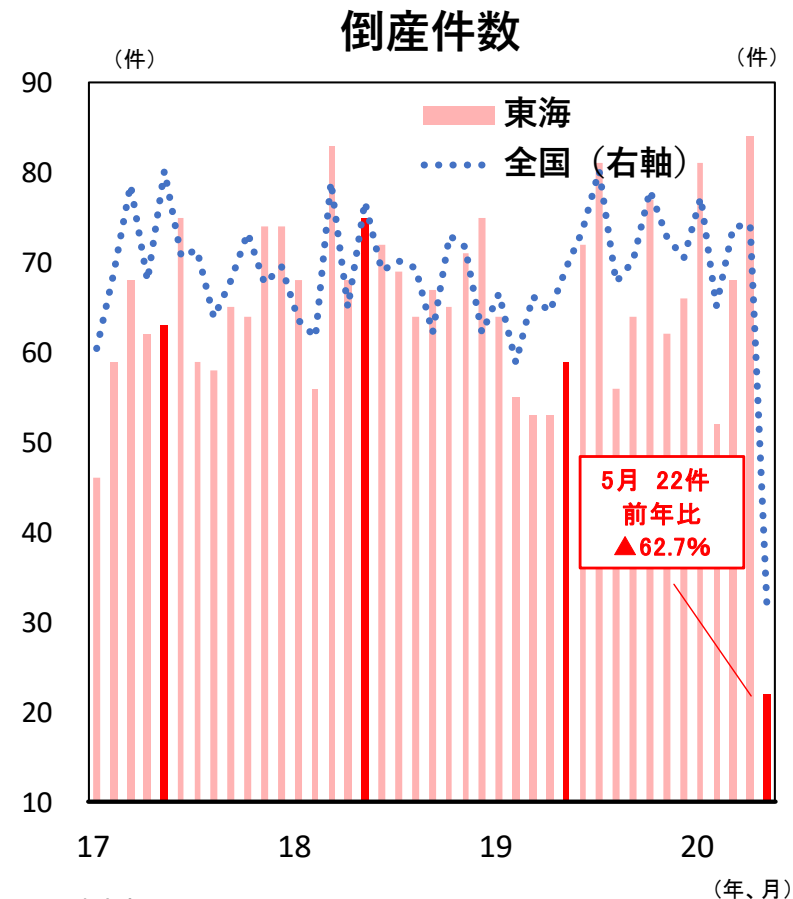
(出所) 建築着工統計よりMURC作成



(注) 愛知、三重、岐阜、静岡の合計(出所)「建築着工統計」

倒産

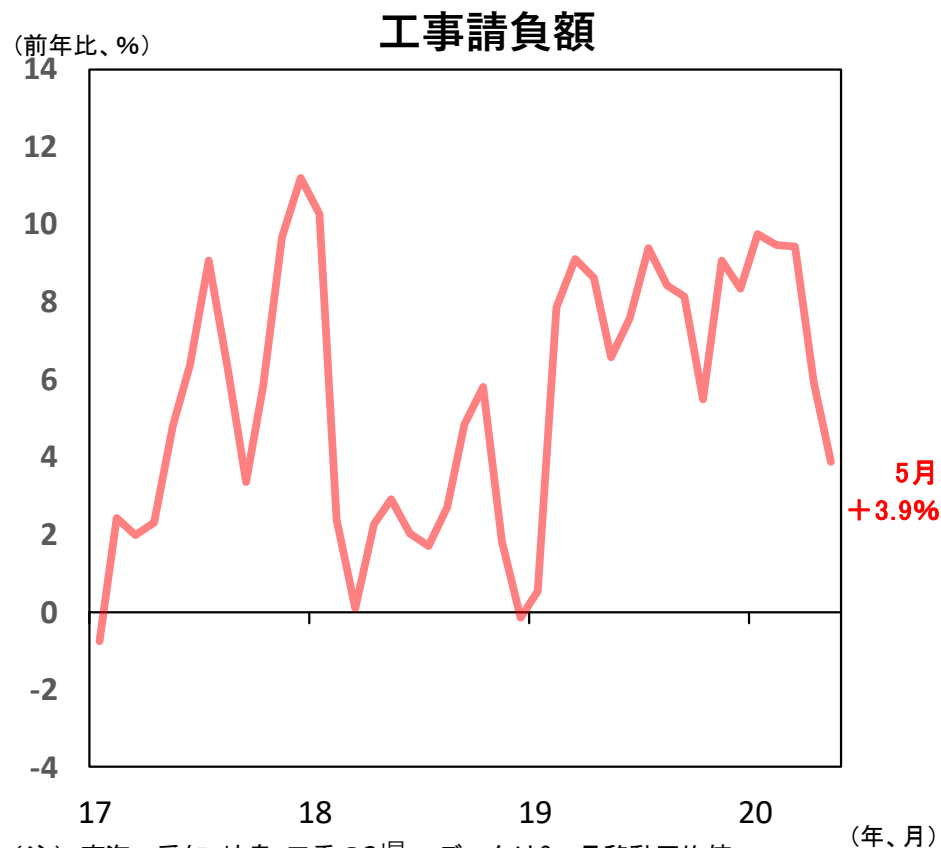
裁判所業務縮小により倒産件数が急減。



(出所) 東京商工リサーチ

公共投資

公共投資は増加トレンドが続く。



(注) 東海＝愛知、岐阜、三重の3県。データは3ヶ月移動平均値。

(出所) 保証事業会社協会、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください